

みんなの 広場

サークル紹介の応募や、皆さんからの
耳寄り情報をお待ちしています。

〒444-0192 菱池字元林1-1

幸田町役場 企画政策課 政策グループ

☎(0564)62-1111(内線333) FAX(0564)63-5139

メール:kikakujo@town.kota.lg.jp



NICE Hello Kids
こなたのアイドル

掲載写真を印刷してプレゼント！企画政策課までご連絡ください。本人のご家族にお渡しできます。

学校へ行こう

南部中学校

校長 鈴木 一也

全校生徒数 244人

問合せ ☎(0564)62-6811

学年を越えて一つになった南中祭

10月15、16日に南中祭（校内文化祭）を行いました。開校40周年となる今年の南中祭は、「自分から進んで行動し、自分のよさを発揮する」、「一人一人がやりぬき、全員が輝く」ことを目標に、スローガンをもと、伝統の復興と、新たな一歩に挑戦しました。

全校制作として、傘に模様を描き上空に飾る「アンブレラスカイ」と一人一人が今後の目標をセロハンに書いて吊るす「煌星」に挑戦しました。縦割りグループで制作することで、学年を越えて絆を深めることができました。南中祭1日目には、準備期間でできたつながりから、学年関係なく関わっている姿が多く見られました。ステージ発表では、ステージ

に立つ生徒だけでなく、見ている生徒も一緒になって盛り上げ、全員でつくり上げました。

2日目には、全校合唱「南風」を3年ぶりに披露しました。誰も全校合唱「南風」を経験したことがない状況で、練習が思うように行えませんでした。伝統を途切れさせないようにと生徒たちが頑張り、ホールに「南風」を響かせることができました。

南中祭を通して、学年を越えたつながりが強くなりました。南部中は、今後も積み上げてきた伝統と新たな一歩を大切にし、発展していきます。



南中の空を彩る「アンブレラスカイ」

西三河の方言

「もちい」

1月15日は小正月。この日は「どんど焼き」が各地で行われますが……
「ここらじゃー、もちい、ちって、どこでも花団子こしやいよっただ」

「この辺りでは、（小正月を）もちいと言って、どこの家でも餅花を作ったものだよ」という意味です。

この「もちい」、もともと「もちひ」と言い、「望日」と書いたようです。「望日」とは「望の日」のことで、「望」とは「望月」、つまり十五夜の満月であることから、もともと旧暦の15日、特に中秋の名月である8月15日を指したそうです。でも、この地方では、小正月である1月15日だけを「もちい」と言うわけですが、それはどうしてなのでしょう。

「もちい」の日には、五穀豊穡を願い、花に見立てた紅白の団子を木の枝に付け、ご神前はもちろん家の要所、納屋や蔵にもお供えしたそうですが、昭和20年以降こうした家も少なくなると幸田町史にあります。このように、「望日」でも特に大事な日だったからこそ、小正月をこの地方では「もちい」と言ったと考えます。

そういえば、中秋の名月にお供えするのも団子でしたね。団子は「餅」とも言い、「望」に「餅」は付き物なので、どちらも「もち」と読むのかもしれない。

（文・じろぎ）



青春 トークラー

第358走者

【大草区在住】稲葉 りえる さん

年齢 21歳 職業 大学生

趣味 旅行

マイブーム ドライブ

好きなアーティスト マルシイ

チャレンジしたいこと 首都高を自分で運転する

幸田町で好きな場所 ジョイフル三河幸田店

私は小学校1年生の頃から幸田町に住んでいます。そして高校生になり、初めて幸田町を出て通学することになりました。その中で感じたことが、幸田町の温かさです。幸田町の人たちは自分の親でなくても親のように優しく声をかけてくれます。通りがかった時にはおかえりと言ってくれる人もいます。私はそんな温かい幸田町をとて誇りに感じます。



この本読みました

「マンガ名言で読む感動の偉人伝3 命と平和」

学研プラス

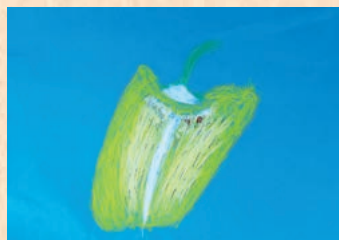
この本は偉人たちの生き方と共に名言も書いてあります。その中で私の心に残ったのはマザー＝テレサの言葉です。どんな人にも思いやりの行動をしていた彼女だからこそその言葉に、私も思いやりを大切にしたいと思いました。



荻谷小6年
深澤 朋花 さん

画伯登場

坂崎小学校



1年
石川 琴葉 さん

クレヨン画 〈たねがいっぱいのパプリカ〉

【先生から】ていねいに色を重ねることで、パプリカのみずみずしさを表現できました。本物みたいでおいしそうですね。



3年
山本 芽以 さん

水彩画 〈太い大きな木〉

【先生から】ハナノキの太い幹をよく見て描くことができました。色使いを工夫し、葉の明るさを表現できましたね。

町民会館・図書館・町民プール

ハッピネス情報

ハッピネス・ヒル・幸田
ホームページ

<https://www.happiness.kota.aichi.jp/>

郷土史講座（全2回連続講座）

第1回 「幸田に残る家康とその家臣団の足跡」

と き 2月4日① 午後2時～3時30分

講 師 神取龍生（幸田町教育委員会生涯学習課）

第2回 「ゼロから始める城巡り」

～幸田町に残る22の城跡の調べ方、巡り方、楽しみ方～

と き 2月18日① 午後2時～3時30分

講 師 七種英康氏（郷土史家、城郭研究家）

ところ 町民会館 あじさいホール 対 象 どなたでも

定 員 70人 ＊先着順 受講料 500円（2回分）

申込み 1月15日① 午前9時から受け付けします。
図書館カウンターまたは電話でお申し込みください。

問合せ 町立図書館 ☎(0564)63-0001 FAX(0564)63-0654

1・2月の休館日
〈1/16～2/15〉

町民会館 ☎(0564)63-1111 ● 1/16㊟・1/23㊟・1/30㊟・2/6㊟・2/13㊟

図書館 ☎(0564)63-0001 ● 1/16㊟・1/23㊟・1/30㊟・1/31㊟・2/6㊟・2/13㊟

町民プール ☎(0564)56-8111 ● 1/16㊟・1/23㊟・1/30㊟・2/6㊟・2/13㊟